

三小だより

新潟市立新津第三小学校

令和5年6月13日 (火)

NO.2

伸びる芽 伸びる子

教頭

生活科や理科の学習で今年もいろいろな野菜や植物を育てています。あすなる学級はサツマイモ、1年生はアサガオ、2年生は野菜、3年生はハウセンカとひまわり、4年生・5年生はヘチマ、6年生はジャガイモを育てています。

毎朝、育てている野菜や植物の様子を見に行き、水をやるのが子供たちの日課です。今朝は、「暑いからたっぷりお水をあげなきゃ」と額に汗をかきながら笑顔で水やりをしている1年生を見かけました。先日は、「野菜の枝が折れてる！大変！」と予期せぬ出来事に驚き、担任からの「大丈夫！心配いらないよ」の言葉に安堵している子供たちを見かけました。

自らの手で心を込めて世話をすることは育てる喜びに違いありません。様々なハプニングに見舞われながらも、日に日に芽が伸び、葉が増え、やがて花が咲き、実がなっていく野菜や植物の変化を目のあたりにし、子供たちは伸びることの喜びを感じ取っているのだと思います。

「不問収穫 只問耕耘」(ふもんしゅうかく しもんこううん)という言葉があります。「やるまえから収穫は問わない。田畑を耕し草を抜くように今自分が為すべきことに取り組みましょう」という意味だそうです。

めまぐるしく変化する社会の中で、早く結果を出すことや成果を上げることを求められがちです。早く早くと急ぎ立て、何でもすぐにできるようになることを期待してしまいます。でも、人の成長は野菜や植物のように早くはありません。子供が自ら伸びようとする力を信じ、そのために今日自分が何をすべきかを考えるようにしています。

スポーツに親しむ日(R5.5.20) 特集

「温かい応援ありがとうございました」

体育主任

今年度のスポーツに親しむ日は感染対策緩和を受けて、久しぶりに全校揃っての開催になりました。私も全校が揃ったスポーツに親しむ日は初めてだったので、その熱気に圧倒されました。そういった中、子どもたちは真剣に競技に取り組み、体を動かすことができました。

今年も応援団長を中心としてピリっと締まったカッコいい応援が見られました。本番まで毎日練習を重ね、全体をまとめながら声を出す姿はまさに全校の代表でした。他学年が競技をしているときに熱い眼差しやエールを送る姿が見られ、心が温かくなりました。どの学年もダンス、徒競走、学年リレーとそれぞれの種目に全力で取り組みました。

気温が高く体力的に大変だったと思いますが、児童が力を出し切った素晴らしい「スポーツに親しむ日」となりました。保護者の皆様、温かい拍手での応援、ありがとうございました。

たのしくげんきにダンスをおどったよ！

1ねん

わたしは、げんきよくジャンボリミッキーをおどることがいちばんのめあてでした。くりかえすうごきをまちがえないように、おうちでもころのなかでかぞえながられんしゅうしました。ほんばんは、たのしくげんきにおどることができてよかったです。おうちのひとに「すごくじょうずでかわいかったよ。」といわれてうれしかったです。

らいねんは、50メートルとるそうでもまっすぐにまえをむいてはしって、1いになりたいです。

がんばったスポーツにしたしむ日

2年

わたしは、50メートルそうをがんばりました。あいてにまけないようにいっしょうけんめい前をむいてはしりました。でも3いしかとれなかったので、はしるれんしゅうをして、3年生ではがんばって1いをとりたいです。

かえっているときに、ママとパパが「がんばったね。」と言ってくれました。

がんばったリレー

3年

スポーツに親しむ日でがんばったことは、リレーです。

1位をとるために、体育の時間だけでなく、休み時間にもリレーれん習をしました。とくにがんばった事は、バトンパスとおうえんです。バトンパスでは、右から左に持ちかえることをがんばりました。おうえんでは、大きな声で友だちの名前をよび、一生けんめいおうえんしました。この2つをがんばったことで、2位になれたので良かったです。来年は1位をとれるようにもっとがんばります。

スポーツに親しむ日にごんぱったこと

4年

スポーツに親しむ日のリレーの練習をするときにまずバトンの練習をしました。最初はバトンを渡される時、後ろを振り向いてしまいタイムが遅くなりました。だけど本番では仲間を信じたら前を向いてもバトンをもらうことができました。

また、練習ではテイクオーバーゾーンを越えて順位が変わってしまうことがありましたが本番ではみんながテイクオーバーゾーンを出ないように上手にバトンパスができて、一位をとれてとても嬉しかったです。

スポーツに親しむ日

5年

私は、スポーツに親しむ日を通して協力することの素晴らしさやみんなのために努力する・頑張ることの素晴らしさを学びました。中でもたくさんの感情を感じたのはリレーです。最初、みんなで走った時はまだまだ伸びしろのあるリレーでした。けれども、リレーリーダーを中心に、練習を繰り返していくうちに、どんどんタイムが縮まっていきました。本番は、みんなが全力を出し切り、タイムが11秒も縮まり、とても嬉しかったです。

協力することの素晴らしさやみんなで力を合わせる素晴らしさを忘れずに、来年のスポーツに親しむ日に活かしたいです。

何度も練習したバトンパス

6年

僕は、リレーの1走目として良い流れを作れるようにごんぱりました。次に走る友達と一緒に何度も練習してきたバトンパスがうまくできて、すごく嬉しくて「練習をやってきてよかったな」と思いました。1組は3位だったけど、先生が言っていたように他のクラスとの戦いよりも自分たちに目を向けてみたら、ベストタイムを出すことができました。やはりみんなで協力すると頑張れると思えました。このことから協力の大切さを学びました。